

## 著者紹介

### 池田 建司

平成3年東京大学大学院工学系研究科数工学専攻博士課程修了。同年徳島大学工学部助手、平成4年同講師、平成6年より同助教。制御工学の研究に従事。博士(工学)。計測自動制御学会、システム制御情報学会、IEEE各会員。

### 伊藤 昇

1950年生。1975年東京大学工学部機械光学系修士課程修了。同年三菱電機(株)に入社。衛星通信アンテナ、光学望遠鏡の開発設計に従事。日本機械学会、日本天文学会各会員。

### 占部浩一郎

1982年通商産業省入省。2000～04年6月まで、CICCシンガポール(JETROシンガポール)に赴任。アジアに対するIT協力、IT動向の調査などを担当。

### 大場みち子(正会員)

1982年(株)日立製作所入社。XML/Webサービス、SOA、システムインテグレーション関連の開発。サービスに従事。2001年大阪大学大学院工学研究科博士課程修了。博士(工学)。大阪大学非常勤講師。電気学会会員。

### 海部 宣男

国立天文台台長。東京大学大学院天文学専攻修了(理学博士)。同理学部助手等を経て、1988年国立天文台教授。専門は観測天文学。著書「銀河から宇宙へ」(新日本新書)、「電波望遠鏡をつくる」(大月書店)など多数。

### 加藤 恒彦

(独)科学技術振興機構計算科学技術研究員。大阪大学大学院理学研究科修了。博士(理学)。主な研究分野は高エネルギー宇宙物理学および宇宙空間プラズマ物理学。

### 小久保英一郎

国立天文台理論研究部上級研究員。1997年東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了。博士(学術)。専門は惑星系形成論。主な著書に「一億個の地球」(共著、岩波書店)、「宇宙と生命の起源」(共編著、岩波書店)がある。日本天文学会、日本惑星科学会各会員。

### 斎藤 貴之

国立天文台理論研究部研究員。

### 下村 隆夫(正会員)

昭和48年京都大学理学部卒業。昭和50年東北大学大学院理学研究科修士課程修了。同年日本電信電話公社(現NTT)電気通信研究所入所。平成4～6年まで電気通信大学大学院情報システム学研究所客員助教授。平成5～8年までATR通信システム研究所に出向。平成8年より徳島大学工学部知能情報工学科教授。ソフトウェア工学の研究に従事。博士(工学)。電子情報通信学会、ACM各会員。

### 白崎 裕治

標高5,200mの南米ボリビアチャカルタヤ山での、空気チェレンコフ光による宇宙線観測で学位を取得後、人工衛星を利用したガンマ線バーストの観測を行う。現在はバーチャル天文台の開発のため、最新の情報処理技術を学習中。

### 鈴木 俊宏

1990年国立長岡技術科学大学大学院(情報・制御工学専攻)博士課程単位取得満了。1985年日本アイ・ビー・エム(株)入社。オペレーティングシステム、分散オブジェクト技術等の開発。標準化活動に従事。1998年日本オラクル(株)入社。新規技術戦略担当として各種協議会、標準化団体に参画。EGA(Enterprise Grid Alliance)日本運営委員会議長。

### 台坂 博

国立天文台天文学データ解析計算センター研究員。

### 高橋 宗雄(正会員)

昭和42年千葉大学電気工学科卒業。同年日本電信電話公社(現NTT)電気通信研究所入所。平成3年より桐蔭横浜大学工学部助教。平成14年より同大学工学部教授。ソフトウェアメトリクス、ソフトウェアプロジェクト管理技術の研究・開発に従事。工学博士。電子情報通信学会会員。

### 高幣 俊之

理化学研究所或崎計算宇宙物理研究室協力研究員。東京大学大学院工学系研究科修了。科学技術研究成果の可視化を中心として、国内外のビジュアライゼーションに関するシステム設計からコンテンツの開発まで幅広く手がける。

### 武田 隆顕

(独)科学技術振興機構計算科学技術研究員。東京工業大学地球惑星科学専攻修了。博士(理学)。主な研究分野は衛星形成過程。

### 田中 邦彦

現在、東京大学大学院理学系研究科物理学専攻博士課程在学中。

### 近山 隆(正会員)

1977年東京大学工学部計数工学科卒業。1982年同情報工学専門課程修了。工学博士。同年よりICOTにおいて第五世代コンピュータプロジェクトに参加。1995年より東京大学に移り、現在同新領域創成科学研究科基盤情報学専攻教授。

### 堂前 清隆

1978年京都生。2001年京都工芸繊維大学工芸学部卒業。同年(株)インターネットイニシアティブ入社。技術本部企画開発部にてWeb系アプリケーションサービスの調査開発に従事。2004年より同社ソリューションサービス部。

### 富阪 幸治

国立天文台理論研究部教授。

### 中島 浩(正会員)

1981年京都大学大学院修士課程修了。三菱電機(株)、京都大学を経て、1997年より豊橋技術科学大学教授。本会計算機アーキテクチャ研究会主査などを歴任。現在ACS論文誌編集委員長。

### 仲谷 善雄(正会員)

立命館大学情報理工学部教授。1981年大阪大学人間科学部(社会心理学)卒業。同年三菱電機(株)入社。中央研究所、産業システム研究所にて人工知能、ヒューマンインタフェース技術などの研究開発に従事。1991～92年米国スタンフォード大学言語情報研究センター客員研究員。1998年(株)ドーシスに出向、ITS(高度道路交通システム)の検討に従事。2001年に出向解除。道路・河川・港湾のIT化や防災システムのビジネスに従事。2004年4月より現職。本会、計測自動制御学会、人工知能学会、ヒューマンインタフェース学会などの会誌・論文誌編集委員を歴任。学術博士。  
E-mail:nakatani@is.ritsumei.ac.jp

### 成田 雅彦

アプリケーションサーバ製品の企画開発に従事。X Window System V11R6の国際化機能の開発リーダーやeXML、WS-ReliabilityなどB2BやWebサービス分野の国際標準仕様の企画も手がける。WS-Iボード、JCP J2EE/EC各メンバー、eXMLアジア委員会相互運用タスクグループ議長など、数多くの国際的な標準団体/業

界団体に参画。

### 林 満

(独)科学技術振興機構計算科学技術研究員。千葉大学自然科学研究科修了。博士(理学)。主な研究分野は天体プラズマシミュレーション。

### 早野 裕

1995年東京大学大学院理学系研究科天文学専攻博士課程修了。2003年国立天文台助手。2004年より同上級研究員。すばる望遠鏡のレーザーガイド星補償光学装置の開発を担当。

### 藤崎哲之助

工学博士。1970年東京大学計数工学科卒業。1972年同大工学系大学院卒業。2000年コロンビア大学MBA卒業。1972年日本IBMサイエンティフィック・センター入社。1987年米国IBM T. J. Watson研究所入社。2002年よりコロポ・テクノロジー(株)代表取締役社長。  
E-mail:tetsu.fujisaki@attglobal.net

### 藤田 悟(正会員)

1989年東京大学大学院工学系研究科電気工学専攻博士課程修了。工学博士。同年日本電気(株)入社。1994～95年まで、University of Massachusettsの客員研究員。エージェント技術、Webサービス等の研究開発に従事。人工知能学会会員。

### 堀江 哲夫

1972年日本電気入社。1979～82年NEC do Brasil(NECブラジル)出向。1982～86年NECパラグアイ・アスンシオン駐在。1992～97年NEC広州駐在。1999～2001年中国・天津日電(天津NEC)出向。2002～04年日電中国(NEC中国)出向。2004年よりCICC出向。

### 牧野淳一郎

東京大学大学院理学系研究科天文学専攻助教授。

### 益田 隆司(正会員)

昭和38年東京大学工学部卒業。昭和40年(株)日立製作所。昭和52年筑波大学講師、助教授。昭和63年東京大学理学部情報科学科教授。平成7～9年同大理学部長、大学院理学系研究科長。平成12年電気通信大学教授。平成16年4月より同大学長。本会論文誌編集委員、研究会主査、理事、監事を歴任。現在本会会長。

### 三浦 均

武蔵野美術大学映像学科助教授。京都大学理学部卒業。神戸大学大学院博士課程修了。理学博士。理化学研究所基礎科学特別研究員などを経て1999年より現職。主な分野は計算に基づくCG映像(計算絵画)。

### 観山 正見

国立天文台副台長。理論研究部教授。京都大学大学院修了(理学博士)。同大助手。国立天文台助教授を経る。専門は星・惑星系の形成等を対象とした理論天文学。主な著書「太陽系外惑星に生命を探せ」(光文社新書)。

### 最上 義夫

昭和50年京都工芸繊維大学大学院工学部研究科修士課程修了。同年徳島大学工学部情報工学科助手。平成9年より同大学知能情報工学科講師。学習オートマン、強化学習、ニューラルネットワークの研究に従事。博士(工学)。計測自動制御学会、システム制御情報学会、電子情報通信学会、IEEE各会員。

### 矢野 直明

サイバーレテラシー研究所代表。編集者(ジ

ジャーナリスト)。朝日新聞出版局で「ASAHI パソコン」, 「DOORS」などの雑誌を創刊。著書「インターネット術語集 I, II」, 「サイバーリテラシー」, 「情報編集の技術」など。

#### 山田 良透

京都大学大学院理学研究科物理学宇宙物理学専攻助手(天体核研究室)。宇宙の流体現象のシミュレーションおよび数値計算手法の研究。現在は国立天文台 JASMINE プロジェクトで機上データ処理や解析手法等を研究。

#### 湯浅 太一 (正会員)

1952年神戸生。1977年京都大学理学部卒業。1982年同大学院理学研究科博士課程修了。同年同大数理解析研究所助手。1987年豊橋技術科学大学講師。1988年同大助教授。1995年同大教授。1996年京都大学大学院工学研究科情報工学専攻教授。1998年同大学院情報学研究科通信情報システム専攻教授となり現在に至る。理学博士。記号処理、プログラミング言語処理系、並列処理に興味を持っている。著書「Common Lisp 入門」(共著)、「C言語によるプログラミング入門」, 「コンパイラ」ほか。

日本ソフトウェア科学会、電子情報通信学会、IEEE、ACM 各会員、本会フェロー。

#### 吉田 直紀

名古屋大学理学研究科素粒子宇宙物理学専攻助手。

#### 和田 桂一

国立天文台理論研究部助教授。専門は宇宙物理学。日本天文学会会員。



### 訂 正

本誌 45 卷 11 号 (2004 年 11 月号) p.1190 のコラム「名著名論」のタイトルに誤りがありました。正しくは以下の通りです。お詫びして訂正いたします。

(誤) Joseph E. Stoy : Denotational Semantic : The Scott-Strachey Approach to Programming Language Theory

(正) Joseph E. Stoy : Denotational Semantics : The Scott-Strachey Approach to Programming Language Theory

## 情報処理学会からののお知らせ

# 情報処理学会電子図書館は BookPark に移行しました

まずはユーザ登録を!

<http://www.bookpark.ne.jp/ipsj/>

BookPark に情報処理学会発行の出版物(会誌、論文誌、研究報告、欧文誌、英文誌)が載りました。創刊号から最新号まですべてのデータを収蔵。

情報処理学会会員の方は、無料\*で閲覧することができます。

\*BookPark で新たにユーザ登録を行っていただく必要があります。

\*該当する出版物を購読されている方に限ります。また、会員の方でも会費や購読費が未納の場合、有料となる場合があります。

一般の方でも 1 編から購入することができますので、ぜひご利用ください。



# 会員の広場

## Member's Voice

今月の会員の広場では、9月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、9月号の特集「ユビキタスコンピューティングとネットワーク社会の到来に向けて」に対しましては、多くのご感想とご意見をいただきました。

■生活をしていて、筆者の感じるような体験はよくあります。それゆえ、普及したカメラ付き携帯を利用して、実世界とデジタル情報をつなぐことは非常に有効であると思います。（匿名希望）

■今月の特集は大変興味深く読みました。ユビキタスコンピューティングにより、今まで必要な情報を得るために割り当てていた時間が省けるようになるだろうということに期待を持っており、今後どのようなアイデアがでてくるのが楽しみであります。今後機会があれば、どのような形式で情報が流れていくのか、セキュリティはどうなるのかなどの記事を取り上げていただけたらうれしく思います。（菅原宏之）

■学術研究およびビジネス分野におけるユビキタス関連の研究開発動向やその恩恵についてだけでなく、実現における種々の課題点について知る上でも非常に興味深く読ませていただきました。（佐藤慶三）

■ユビキタスコンピューティングに対する夢は広がっていきますが、現実的に普及する上での社会に及ぼすマイナス面、混乱なども同時に考えていかなければならない気がします。（匿名希望）

■日本のように国土が狭い上に生活者が偏在（遍在ではなく）しているからこそ追求できる、実空間とサイバー空間を結合したサービスがあると思う。それを、受益者の立場で追求する活動が多く発生することを期待している。（山崎竹視）

コラム「アメリカITまわりの話題：Web世界を安全にする試み」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■スパムメールについて取り上げられていましたが、最近いたるところでスパムメールの洪水がひどいということが話題となっているように思います。また、個人的なWebページに設置してある掲示板への書き込みにも最近嫌がらせの書き込みが増えてきているように感じます。これらに対する決定的な対策がないからWeb世界において秩序や安全が守られていないと考えられるので、早く解決手段が出てくることを切望しますが、その一方で、Web

世界の向こうには必ず人間が存在していることを考えると、そこまでしないと人に不快な思いをさせるメールや書き込みがなくなることを非常に残念に思います。（片山聡一郎）

■情報セキュリティに関する内容は、ITインフラのさまざまな階層が複雑に関連しており、なかなか理解しづらい。結局のところ、ITの恩恵と引き替えに負わなければならないリスクなのだろうか？（山田敏則）

■スパムメールの大洪水には辟易しています。法的な規制をかけるにしても、Webの世界に国境はなく、国際条約を締結するにせよ、すべての国と地域が条約当事国になるわけではないので、規制するのは事実上無理でしょう。（水野光朗）

■Webや電子メールはインターネットの基本的なツールですが、ユーザが安全に安心して利用するには、技術面および運用面からまだやる必要があるように思いました。ぜひ、体系だった解説をした特集を組んでいただければ幸いです。（匿名希望）

コラム「日本のIT事情：DTP編集が伝統的な本づくりを破壊していく」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■読書の習慣が人を育てるという面もあり、質の高い図書を提供し続けるために何ができるか、考えなくてはならないのではないかと。（匿名希望）

■本コラムはまさに我が意を得たりであった。「ITによる効率化」の名の下に、DTPに限らずプロフェッショナルな仕事が次々に駄目になってゆく。特に、総務系の仕事が気になる。多くの日常生活にまつわる書類や判断が集まるからこそ工夫や改革があったはずなのに、「間接業務の削減」でITによる当事者入力主義になった。現場の現実に即して全体像を把握するプロフェッショナルはいなくなり、「前例どおり」のことができなくなったり、実情と遊離した「改革」がなされたりする。「誰もができるから各人が行う」ことになった仕事は、ことごとくプロフェッショナル性を失い、結果として悪い方向に向かっていると思うのは私だけだろうか。（山崎竹視）

コラム「アジアIT事情：アジアにおけるIT事情（ASEAN諸国の状況）」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■筆者の現地での体感に基づく記事でとても面白く読めた。シンガポールでのITをツールとして大いに活用している点は、我々日本も見習うべきものではないだろうか。（匿名希望）

■インドの事情も取り上げていただけるそうで、とても楽しみにしています。（水野光朗）

コラム「情報技術と教育：トップダウンに考える能力」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■私は通信工学を主専攻とする学科に所属していましたが、ボトムアップの理論中心のカリキュラムだったと感じています。今は大学院で研究を自ら進めていくかたちでやっています、物理世



界と論理世界をリンクすることとトップダウン思考が教育の重点になっていくだろうと思っています。(匿名希望)

■確かにそのとおりですが、今の日本社会の産業構造から遊離した議論であると思います。本音のところでは、上から言われたとありに機械のように仕事をする人材のほうが、需要があるのではないのでしょうか。(水野光朗)

その他の記事に関しては、以下のようなご感想をお寄せいただきました。

■Webサービスの実験的なシステムではなく、ビジネスにおいて具体的に活用されている事例を紹介している「Webサービス：Webサービス構築事例」に対して興味を持った。(亀井靖高)

■「企業組織をコミュニケーションから評価する」：ソーシャルネットワーク分析はあくまでも事例研究という感覚が強く、今回のような企業内コミュニケーションの分析や視覚化は面白いと思う反面、その有用性をどのように評価すべきかが課題の1つであると感じた。組織内コミュニケーションの観測・評価の手段というだけでなく、ネットワーク構造に効率的に働きかけるようなツールがあると便利だと思う。(匿名希望)

■「自動車における情報通信技術の流れ(前編)」：以前よりカーエレクトロニクスに大変興味がありましたので、楽しく拝見させていただきました。現在、紹介のあった技術は目覚ましく進化しておりますが、残念なことに自分で苦勞して購入した最新技術の商品でも、おかげで数年たてば過去の遺物になることもしばしばです。再び最新の製品を得ようとするれば自動車自身を新車に買い替える以外に方法はありません。そこにメーカーの戦略が窺えますが、ユーザ側からすると手軽に機能の更新ができれば、もっと一般の人々にも受け入れられる気がします。(匿名希望)

学会誌の内容や今後とりあげて欲しいテーマに関して、以下のご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にさせていただきます。

■今月号のコラム「日本のIT事情」の話題にもなっていますが、最近のDTPについての詳細な記事をお願いします。(匿名希望)

■社会心理学からみたコピキタス社会への考察。(雪野 清)

■音楽・画像・動画などのマルチメディアに関する最新の動向を取り上げていただきたいです。(片山聡一郎)

■2004年10月1日に設立されたソフトウェア・エンジニアリング・センター(SEC)の動向について特集を組んでいただきたい。(亀井靖高)

■南極観測における情報通信技術の活用状況：地理的事情で、世界最先端の情報技術の適用が容易ではないだろうが、制約条件の多い環境下での利用技術導入推進は地球環境問題の前進のためにも重要であり、学会のバックアップに期待したい。(匿名希望)

■毎回コラム「20世紀の名著名論」は楽しみにしています。今後一読すべき名著名論に期待しています。(田中史朗)

■Linuxのようなオープンソフト開発についてアジアを含む全世界での取り組みや推進状況を知りたい。(匿名希望)

会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会Webページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声を寄せください。

【本欄担当 小幡元樹, 田近一郎/書評・ニュース分野】

今月はこのほかにも、数多くのご意見・ご感想をいただきましたが、スペースの都合で記事のすべてを掲載することができませんでした。これらのコメントはWeb版会員の広場「読者からの声」<URL: <http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>>に掲載していますので、そちらもご参照ください。

## ご意見をお寄せください!!

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など、自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL: <http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/michishirube/michishirube.html>>  
でこれからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F  
情報処理学会 会誌編集部 E-mail: [editj@ipsj.or.jp](mailto:editj@ipsj.or.jp) Fax: (03)3518-8375  
<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4512.html>

皆様からいただいた会誌へのご意見は下記Webページにも掲載しております。  
<URL: <http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>> (読者からの声)



IP SJ カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
12月17日(金)	連続セミナー 2004 第6回「ICタグ」 <a href="http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2004/index.html">http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2004/index.html</a>		定員になり次第	東京電機大学 神田キャンパス
12月17日(金)	第100回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/HPC100.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/HPC100.html</a>	10月22日(金)	当日のみ	ホテル東京 KKR 竹橋
12月17日(金)	四国支部主催講演会 「通信キャリアにおける高信頼ノード構成技術」の開催案内 <a href="http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html">http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html</a>			愛媛大学
12月17日(金)	四国支部主催講演会 「インターネットにおける長距離データ通信」他開催案内 <a href="http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html">http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html</a>			香川大学
12月20日(月)	第27回コンピュータセキュリティ研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/CSEC27.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/CSEC27.html</a>	10月20日(水)	当日のみ	化学会館会議室 (御茶ノ水)
12月20日(月)	第52回数理モデル化と問題解決研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/MPS52.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/MPS52.html</a>	10月29日(金)	当日のみ	電気通信大学
<b>2005年</b>				
	平成16年度研究開発奨励賞候補者推薦募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/03somu/researcher/h16boshu.html">http://www.ipsj.or.jp/03somu/researcher/h16boshu.html</a>	1月20日(木)		
	論文誌「量子計算と量子情報」特集論文投稿 <a href="http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/si03.html">http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/si03.html</a>	1月31日(金)		
1月11日(火)～	第165回自然言語処理研究発表会		当日のみ	NHK放送技術研究所
1月12日(水)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/NL165.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/NL165.html</a>			
1月11日(火)～	第46回プログラミング・シンポジウム			ウエルシティ湯河原 (予定)
1月13日(木)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/prosym/">http://www.ipsj.or.jp/prosym/</a>			
1月14日(金)	高度交通システム2005シンポジウム <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/S-ITS2005.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/S-ITS2005.html</a>		1月7日(金) 定員になり次第	日本科学未来館
1月18日(火)～	ハイパフォーマンスコンピューティングと	9月30日(木)		東京大学 山上会館
1月19日(水)	計算科学シンポジウム (HPCS2005) <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/S-HPCS2005.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/S-HPCS2005.html</a>			
1月19日(水)～	第121回マルチメディア通信と分散処理・	11月19日(金)	当日のみ	産業技術総合研究所
1月20日(木)	第54回グループウェアとネットワークサービス合同研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/DPS121GN54.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/DPS121GN54.html</a>			サイバーアシスト研究 センター
1月20日(木)	第99回アルゴリズム研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/AL99.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/AL99.html</a>	11月19日(金)	当日のみ	東京大学医科学研究所
1月20日(木)～	第135回データベースシステム・第10回放送コンピューティング	11月15日(月)	当日のみ	遠鉄ホテルエンパイア
1月21日(金)	研究グループ 合同研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/DBS135BCC10.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/DBS135BCC10.html</a>			
1月20日(木)～	2005年情報学シンポジウム	9月27日(月)	1月7日(金) 当日可	日本学術会議講堂
1月21日(金)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/Fl2005.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/Fl2005.html</a>			
1月20日(木)～	第147回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会	10月31日(日)	当日のみ	京都大学
1月21日(金)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/CVIM147.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/CVIM147.html</a>			
1月20日(木)～	第52回プログラミング研究発表会	11月20日(土)	当日のみ	NTT 厚木研究開発 センタ
1月21日(金)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/PRO52.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/PRO52.html</a>			
1月21日(金)	第153回計算機アーキテクチャ研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/ARC153.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/ARC153.html</a>	11月15日(月)	当日のみ	共済会館八汐荘 (那覇市)
1月28日(金)	第48回デジタル・ドキュメント研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/DD48.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/DD48.html</a>	11月14日(日)	当日のみ	化学会館会議室 (御茶ノ水)
1月28日(金)	第65回人文科学とコンピュータ研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/CH65.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/CH65.html</a>	11月19日(金)	当日のみ	広島市立大学
1月28日(金)	第112回ヒューマンインタフェース研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/HI112.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/HI112.html</a>	11月19日(金)	当日のみ	NTTドコモ R&Dセンタ
1月31日(月)～	SAINT2005 2005年インターネット応用国際会議	7月1日(木)		イタリア (トレント)
2月4日(金)	<a href="http://www.saint2005.org">http://www.saint2005.org</a>			
2月4日(金)	東海支部専門講習会「ユビキタスコミュニケーション技術」 開催案内 <a href="http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html">http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html</a>		定員になり次第	ルブラ王山(名古屋市)
2月4日(金)～	第55回音声情報処理研究発表会	12月3日(金)	定員になり次第	愛知県 南知多温泉
2月5日(土)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/SLP55.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/SLP55.html</a>			
2月7日(月)	第118回グラフィクスとCAD研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/CG118.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/CG118.html</a>	12月8日(水)	当日のみ	富士通本社(汐留)
2月22日(火)～	第98回システムソフトウェアとオペレーティング・システム	12月17日(金)	当日のみ	香川大学
2月23日(水)	研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/OS98.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/OS98.html</a>			
3月2日(水)～	第67回全国大会			電気通信大学
3月4日(金)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/67kai/index.html">http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/67kai/index.html</a>			
3月14日(月)～	第139回知能と複雑系研究発表会	1月14日(金)	当日のみ	北海道 定山溪ビューホテル
3月16日(水)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/ICS139.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/ICS139.html</a>			
3月15日(火)～	第91回情報システムと社会環境研究発表会	12月17日(金)	当日のみ	専修大学
3月16日(水)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/IS91.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/IS91.html</a>			神田キャンパス
3月18日(金)	第36回分散システム/インターネット運用技術研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/DSM36.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/DSM36.html</a>	12月17日(金)	当日のみ	東京農工大学
3月19日(土)	第27回電子化知的財産・社会基盤研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/EIP27.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/EIP27.html</a>	1月14日(金)	当日のみ	大阪市立大 梅田サテライト
3月22日(火)～	第122回マルチメディア通信と分散処理・ 第28回コンピュータセキュリティ合同研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/DPS122CSEC28.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/DPS122CSEC28.html</a>		当日のみ	大阪大学

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
4月4日(月)～ 4月6日(水)	The 7th International Symposium on Autonomous Decentralized Systems (ISADS2005) <a href="http://isads05.swjtu.edu.cn/index.htm">http://isads05.swjtu.edu.cn/index.htm</a>	9月15日(水)		Chengdu, China
5月30日(月)～ 6月1日(水)	20th IFIP International Information Security Conference (SEC2005) <a href="http://www.sec2005.org/">http://www.sec2005.org/</a>	11月15日(月)		幕張メッセ

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 11月5日 コンピュータ博物館リニューアルオープン、オフコン、ワープロなど対象機器を拡張しました
- 10月28日 第67回全国大会 講演申込受付中!!
- 10月26日 電子ジャーナル形式のオンライン英文論文誌 IPSJ Digital Courier を2005年1月から刊行します
- 10月6日 JSTからの委託により作成した「Webラーニングプラザ」の教材(ソフトウェア工学)が公開されました
- 10月5日 JSTからの委託により作成した「Webラーニングプラザ」の教材(情報セキュリティ)が公開されました

[学会からのお知らせ]

- 11月19日 論文誌(ジャーナル)の論文査読状況を更新いたしました
- 11月11日 「量子計算と量子情報」特集の論文募集
- 11月5日 平成16年度「優秀教育賞」および「優秀教材賞」推薦のお願い
- 10月22日 論文誌(ジャーナル)の論文査読状況を更新しました

# 人材募集 (有料会告)



有  
料  
会  
告

**申込方法:** 任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先などを記載し、掲載希望原稿（[募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]）を添えて下記の申込先へ E-mail、Fax または郵送にてお申し込みください。

\*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

**申込期限:** 毎月 15 日を締切日とし翌月号（15 日発行）に掲載します。

**掲載料金:** 国公立教育機関、国公立研究機関 21,000 円（税込）  
賛助会員（企業） 31,500 円（ 〇 ）  
賛助会員以外の企業 52,500 円（ 〇 ）

**申 込 先:** 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係） E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax (03)3518-8375

\*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

\*人材募集広告は会誌と同時にオーム社発行月刊誌「コンピュータ&ネットワーク LAN」にも掲載されます（料金の追加はありません）。ただしオーム社側の掲載については字数などの関係から大幅に編集されることをご了承ください。

\*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

## ■九州工業大学大学院情報工学研究科

**募集人員** 助手 1名  
**所 属** 情報創成工学専攻  
**専門分野** 分散オブジェクト指向計算、分散協調計算、自律分散計算、マルチ・エージェント  
**職務内容** 「情報システムの高度化を支援する基盤技術の研究開発」プロジェクトにおける分散オブジェクト指向ミドルウェアの開発実務  
**応募資格** 博士号取得者または取得見込みの方で、実践的な研究に興味を持ち、ソフトウェア開発などに経験がある方  
**着任時期** 平成17年4月1日  
**提出書類** 履歴書、研究業績リスト、主要論文別刷（コピー可）、開発経験のあるソフトウェアの説明、現在までの研究やソフトウェア開発の概要と将来の抱負（1000字程度）、所見を求め得る方2名の氏名・連絡先・電話番号・E-mail など  
**応募締切** 平成16年12月24日  
**送付先/照会先** 〒820-8502福岡県飯塚市大字川津680-4 九州工業大学大学院情報工学研究科情報創成工学専攻 橋本 正明  
E-mail:hasimoto@ci.kyutech.ac.jp Tel(0948)29-7619（直通）「教員応募書類在中」と朱書き書留  
**そ の 他** 任期：5年

## ■産業技術総合研究所 グリッド研究センター（GTRC）

**募集人員** 研究職員 2名  
**専門分野** 応募資格を参照  
**応募資格** グリッド技術に幅広い知見を有し、これまでにグリッド技術、インターネット技術または分散システム技術に関連した基盤ソフトウェアの研究開発やグリッド上の応用ソフトウェア開発に従事した経験を有することが望ましい。国際的な標準化・成果普及活動に積極性があり、産学官連携の研究体制において技術的な指導力を有する研究者を募集する  
**着任時期** 平成17年4月1日以降早い時期  
**提出書類** 産総研Webページ（[http://www.aist.go.jp/aist\\_j/employment/youryou.htm](http://www.aist.go.jp/aist_j/employment/youryou.htm)）を参照  
**応募締切** 平成16年12月28日  
**送付先** 産総研Webページを参照  
**照会先** E-mail:grid-hq@m.aist.go.jp Tel(029)862-6600 事務マネージャ 川鈴木 \*「新規採用についての問合せ」と明示のこと  
**そ の 他** 任期：5年（平成22年3月31日まで）、別途ポストも随時募集中  
いずれも詳細はグリッド研究センター Web ページ（<http://www.gtrc.aist.go.jp/>）を参照

## ■会津大学

**募集人員** (a)教授 1名 (CS04005) (b)講師 1名 (CS04006) (c)教授、助教授または講師 1名 (sec04001)  
**所 属** (a)性能評価学講座 (b)マルチメディアシステム学講座 (c)ソフトウェアエンジニアリングセンター  
**応募資格** (a) コンピュータサイエンス・コンピュータ工学、電気工学関連分野博士号取得、大学院博士後期課程においてコンピュータシステム、ソフトウェアおよび通信ネットワークの性能評価理論・手法・実験、ベンチマーク技術などの教育・研究できる方  
(b) Ph.D. degree in Computer Science, Computer Engineering, Electrical Engineering, or a closely related area; a commitment to research and education in the field of multimedia processing, image understanding, image recognition, voice or sound processing and remote sensing; and strong interest in collaboration with industry. (c)エンタプライズ系もしくは組み込み系ソフトウェア開発力強化に関し教育研究できる方、第三者が使用することを前提とする情報処理システム開発経験のある方。博士学位の有無は問わない  
**応募締切** 平成17年1月4日（必着）  
**照会先** (a) E-mail:cs04005@u-aizu.ac.jp (b) E-mail:cs04006@u-aizu.ac.jp (c) E-mail:sec@u-aizu.ac.jp  
**そ の 他** 詳細は以下を参照 (a) <http://www.u-aizu.ac.jp/labs/opm/Position/DCS.html> (b) <http://www.u-aizu.ac.jp/labs/opm/Position/DCH.html> (c) <http://www.u-aizu.ac.jp/labs/opm/Position/sec.html> \*書類はすべて英文提出



## ■北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科

募集人員 助教授 1名  
所 属 知識社会システム学専攻 複合システム論講座  
担当科目 システム科学方法論, 複合システム特論(英語による講義), 基礎数学などから2科目程度を担当  
専門分野 システム科学の方法による大規模複雑な問題を解決し, それらを発展させて知識とする実践的研究分野  
応募資格 博士の学位を有し, 上記分野の研究および大学院教育に熱意を有する方. 修士論文, 博士論文の指導ができること  
着任時期 平成17年4月1日  
提出書類 履歴書, 研究業績リスト(国際論文誌, 査読付国際会議, 国内の論文誌, その他に分けて最新のものから順次記載), 雑誌の編集委員や国際会議のプログラム委員などの, 学術的貢献のリスト, 主要論文別刷(5編以内, コピー可), 選考評価の参考になる特記すべき事項や資料(たとえばその論文を引用している論文など)があれば, 必要に応じ説明を付し添付, これまでの研究の概要および今後の研究計画(2000字程度), 教育への抱負(2000字程度), 応募者の業績をよく知っている方(2名または3名)の推薦書  
応募締切 平成17年1月7日(当日消印可)  
送 付 先 〒923-1292 石川県能美郡辰口町旭台1-1 北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科長 中森義輝  
E-mail:nakamori@jaist.ac.jp Tel(0761)51-1755 (ダイヤルイン)  
「知識科学研究科複合システム論講座 助教授応募書類在中」と朱書き書留  
そ の 他 任期:10年(再任あり). 本学では大学の教員などの任期に関する法律に基づき, 教員を対象とする任期制を導入しています  
推薦者への照会は, 選考の過程で必要に応じて行います  
詳細は <http://www.jaist.ac.jp/jimu/syomu/koubo/jokyoku3-16.10.htm> を参照

## ■(独) 国立環境研究所

募集人員 流動研究員(略称:GOSAT ポスドクフェロー) 若干名  
研究テーマ 衛星観測データによる温室効果ガス全球濃度分布および収支分布の算出に関する研究  
研究内容 以下の2課題の研究を担当する研究者を募集する  
課題1: GOSAT衛星で取得される輝度スペクトルデータからの高精度CO<sub>2</sub>濃度算出  
課題2: 全球CO<sub>2</sub>濃度データを利用した大気輸送モデルによる炭素収支分布推定  
専門分野 地球物理学, 気象学, 大気物理学, 地球化学, 植物生理学, 応用数学, 情報科学, 計算機科学, 計測数理学のいずれかに精通し, その分野での研究が可能であること, 当プロジェクトにおいて遠隔計測, 計算機科学, 気象モデル, 大気輸送モデル, データ同化, 多変量時系列解析, 誤差解析, 計算理論, GISなどの分野での活動に取り組む意志があること  
応募資格 特殊な経験は必要としない, データ解析の研究であるため数学や計算機プログラムの素養があること(必須), パソコンまたはワークステーションによるデータ処理を行う能力を有すること, 採用時に博士の学位を有し, 上記の研究に意欲を持って取り組める方  
着任時期 平成17年4月1日  
提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要研究論文別刷(コピー可), これまでの研究概要, 上記の研究内容を行うにあたっての抱負, 所見を求め得る方2名の氏名と連絡先 \*様式自由 \*封筒などに応募する研究テーマ(略称)を明記のこと  
応募締切 平成17年1月14日(必着)  
送 付 先 〒305-8506 茨城県つくば市小野川16-2 独立行政法人国立環境研究所総務部総務課 人事係長 小島繁雄  
地球環境研究センター 総括研究管理官 井上 元 E-mail:inouegen@nies.go.jp Tel(029)850-2402  
照 会 先 待遇:任期付のNIESポスドクフェローなどの流動研究員として処遇する. 給与は研究能力と経験に応じて決定する  
そ の 他 任用予定期間:採用日より平成18年3月30日まで. ただし, 研究計画と実績に応じて再任可能とする(最長5年)  
選考方法:書類審査および面接による  
詳細については当研究所Webページ (<http://www.nies.go.jp/osirase/saiyo/2004/cger1108.html>) を参照  
なお, 本プロジェクトの目的などについては, GOSATプロジェクトのパンフレット (<http://www-gosat.nies.go.jp>)に掲載予定)を参照



## ■神戸大学大学院自然科学研究科

募集人員 助手 1名  
 所 属 情報・電子科学専攻  
 担当科目 工学部情報知能工学科の計算機演習など  
 専門分野 知的ソフトウェア技術(バイオインフォマティクス, データマイニング, テキスト処理, パターン処理, 確率モデリングなど)  
 応募資格 博士の学位を有する, あるいは着任までに取得見込みの方  
 着任時期 平成17年4月1日  
 提出書類 履歴書(学歴, 職歴, 研究歴, 学位, 受賞歴, 所属学会, 連絡先を記載), 研究業績リスト(査読付論文, 国際会議のプロシーディング, 学術講演, その他), 論文およびプロシーディングの別刷(コピー可), 研究に対する抱負(A4用紙1枚), 照会先(業績について問合せのできる研究者の氏名・連絡先)  
 応募締切 平成17年1月31日  
 送付先/照会先 〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学大学院自然科学研究科情報・電子科学専攻 専攻長 上原邦昭  
 E-mail:uehara@kobe-u.ac.jp Tel(078)803-6215 Fax(078)803-6316 「助手応募書類在中」と朱書き簡易書留  
 そ の 他 詳細は<http://www.cs.kobe-u.ac.jp/koubo.html>を参照

## ■千葉大学工学部電子機械工学科

募集人員 教授 1名  
 所 属 電子機械システム講座 電子情報システム分野  
 担当科目 アルゴリズムの設計と解析, 基礎電子回路など(学部), および大学院関連科目  
 専門分野 情報工学, 計算機工学に関するハードウェアあるいはソフトウェア  
 応募資格 博士の学位を有し, 50歳まで(平成17年4月現在)の方  
 着任時期 平成17年4月1日以降早い時期  
 提出書類 履歴書(電話とE-mailアドレスを記載), 研究教育業績リスト(査読付学術誌論文, 国際会議論文, 口頭発表など, 項目に分けて記載, 外部資金(科学研究費など)の獲得状況, 教育上の業績・経験などの特記事項を記載), 主要論文別刷(査読付学術誌論文・国際会議論文ほか, コピー可), これまでの研究概要と成果(1000字以内), 着任後の教育・研究に関する抱負と具体的研究計画(1000字以内), 推薦書または所見を伺える方1名の氏名と連絡先  
 応募締切 平成17年2月21日(必着)  
 送 付 先 〒263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33 千葉大学工学部電子機械工学科 学科長 山口正恆  
 E-mail:masa@faculty.chiba-u.jp Tel(043)290-3317 「人事公募書類」と朱書き簡易書留 \*応募書類は原則として返却しません  
 照 会 先 電子機械工学科 教授 平田廣則 E-mail:hiro@faculty.chiba-u.jp Tel/Fax(043)290-3349



### 会 員 各 位

過去に発行された当会会員名簿は「会員相互間の連絡や情報交換」を目的としています。  
 最近この目的をはずれ、「広告, 諸勧誘, 商取引等の営利活動に不正に利用される」方がおられますが, このよう  
 な行為は嚴重に謹んでください。名簿を廃却される場合にも, 再利用されることのないようご注意願います。  
 また, 上記不正利用にあてはまらない場合でも, 受け取った相手が不愉快な思いをされないよう, 節度を持った  
 利用をお願いいたします。

当会では, 現在会員名簿を発行しておりません。

# 「2005年情報学シンポジウム」参加募集

## —社会システムを支える情報学—

本シンポジウムは、ネットワーク化社会における情報の円滑な流通と高度な利用の促進を目的に、1984年以来毎年開催してまいりました。例年、研究・開発者と利用者が交流し、情報・知識の利用に関するアイデアや知見を交換する場として、多くの方々に参加いただいております。本年度は、「社会システムを支える情報学」をテーマとして、日本を代表する研究者の招待講演、及び、一般応募論文の発表を以下の要領で行うことになりました。多数の皆様の参加をお待ちしております。

- 【日 時】 平成17年1月20日(木)・21日(金)
- 【会 場】 日本学術会議講堂(東京都港区)  
地下鉄千代田線「乃木坂」駅下車、5番出口より徒歩1分
- 【資料代】 共催学協会員 10,000円、学生 2,000円、非会員 12,000円  
※共催学協会員の方は、お申込の際に所属団体および会員番号を明記してください。
- 【申込方法】 情報処理学会Webページの参加申し込みページよりお申込ください。  
<https://www.ipsj.or.jp/cgi-bin/mousikomi.cgi?code=S-FI2005>
- 【申込締切】 平成15年1月7日(金)  
※当日申込も歓迎しますが、資料不足の際は事前登録者を優先します。
- 【申込/照会先】 (社)情報処理学会 情報学シンポジウム係  
E-Mail: sig@ipsj.or.jp, TEL: 03-3518-8374 (代表)/FAX: 03-3518-8375
- 【共同主催】 日本学術会議(情報学研究連絡委員会, 情報工学研究連絡委員会), 情報処理学会, 国際学術連合科学技術データ委員会, 人工知能学会, 日本化学会, 日本数学会, 日本地理学会, 日本物理学会, 情報知識学会, 日本生物物理学会, 日本ソフトウェア科学会, 言語処理学会
- 【後 援】 科学技術振興機構, 化学情報協会, 計測自動制御学会, 国立情報学研究所, 情報科学技術協会, 情報通信学会, 電子情報通信学会, 日本機械学会, 日本金属学会, 日本材料科学会, 日本社会情報学会, 日本生化学会, 日本動物学会, 日本薬学会, 日本分析化学会

1月20日(木)

基調講演 黒川清氏(日本学術会議会長)  
(タイトル未定)

基調講演 坂内正夫氏(国立情報学研究所)  
社会型情報システムとしてのITS

招待講演 坂上勝彦氏(産業技術総合研究所)  
情報技術と第2種の基礎研究

招待講演 車谷浩一氏(産業技術総合研究所)  
50年後の函館を設計するプロジェクト

1月21日(金)

招待講演 松本洋一郎氏(東京大学)  
知識の構造化とネットワーク型知識基盤の構築

招待講演 吉岡洋一氏(中村学園大学)  
流通業におけるIT情報システム開発の特徴と今後解決が望まれる課題

招待講演 中村裕幸氏(株式会社DCMC)  
建設産業におけるロジスティクスと情報技術

招待講演 綿貫啓一氏(埼玉大学)  
没入型仮想共有環境システムによる設計・製造知識の獲得および職人技の伝承

その他、一般講演およびポスターセッションを企画しております。  
本シンポジウムに関する最新の情報は以下のURLをご参照ください。

<http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/sighp/fi/sympo/2005/>

組織委員長: 武市正人(東京大学) 実行委員長: 吉岡真治(北海道大学) プログラム委員長: 相澤彰子(国立情報学研究所)

# 第 67 回全国大会

## 躍—新しい時代を切り拓く

会 期：平成17年3月2日（水）～4日（金）  
会 場：電気通信大学（東京都調布市調布ヶ丘 1-5-1）

### [聴講参加・講演論文集予約のご案内]

第67回全国大会の「大会聴講参加」「講演論文集」ならびに「懇親会参加」の予約受付をいたします。  
本大会では、以下のイベント企画も開催する予定しております。皆様どうぞお誘い合わせのうえお申込ください。

**予約申込受付期間：平成16年12月15日～平成17年2月10日（※切 19:00）**

**招待講演企画**：招待講演 4 件を予定しております。

招待講演(1)	「John Atanasoff (1903-1995) - Electronic Prometheus」 Blagovest Sendov（ブルガリア大使, 元IFIP 会長） 2日(水)10:10-11:10 第1イベント会場[講堂]
招待講演(2)	「A New Approach to Information Technology」 Gerald L. Engel（IEEE Computer Society 会長） 2日(水)11:10-12:10 第1イベント会場[講堂]
招待講演(3)	「もうひとつの大学改革」 益田 隆司（電通大 学長） 3日(木)13:00-14:00 第1イベント会場[講堂]
招待講演(4)	「調整中」 4日(金)13:00-14:00 第1イベント会場[講堂]

**特別トラック企画**：トラック毎に、その分野の第一線で活躍されておられる方からの基調講演がございます。  
また、基調講演終了後、一般公募による発表を予定しております。

TT1 特別 トラック(1)	<b>バイオ情報学</b> 2日(水)13:15-17:30 第2 イベント会場[B棟 1F 101 教室] 13:15-14:15 基調講演(1):「バイオ情報学における知識処理—データベースから文献まで」 佐藤 賢二(北陸先端大) 14:15-15:15 基調講演(2):「バイオ情報学—コンピュータで生命の変化を知る—遺伝子発現解析からシステム生物学へ」 石井 信(奈良先端大)
TT2 特別 トラック(2)	<b>経営に貢献する IT</b> 4日(金)14:30-17:00 第4 イベント会場[B棟 2F 202 教室] 14:30-15:30 基調講演:「インタンジブル・アセット～ITの企業戦略的価値」 田村 拓(CSK)
TT3 特別 トラック(3)	<b>システム検証技術—その可能性・方向性</b> 2日(水)13:15-17:30 第3 イベント会場[B棟 1F 102 教室] 13:15-14:15 基調講演:「システム検証におけるスケーラビリティを得るために」 木下 佳樹(産総研)

**特別セッション・シンポジウム・研究会企画・標準化セッション企画**：企画毎に講演、パネル討論等を予定しております。

TS1 特別 セッション(1)	<b>情報系 21 世紀 COE の現在と今後の展望</b> 4日(金)14:30-17:00 第2 イベント会場[B棟 1F 101 教室] 14:30-15:30 基調講演:「21 世紀 COE プログラムと大学改革(仮題)」 調整中 *21 世紀 COE プログラム担当官(文部科学省高等教育局大学振興課) 15:45-17:00 パネル討論:「情報系 21 世紀 COE における研究教育の現在と今後の展望」 司 会 : 森 辰則(横浜国大) パネリスト: 調整中 *21 世紀 COE プログラム担当官(文部科学省) 知識社会基盤構築のための情報学拠点形成 田中 克己(京大) 電子社会の信頼性向上と情報セキュリティ 辻井 重男(情報セキュリティ大学院大) 大規模知識資源の体系化と活用基盤構築 古井 貞熙(東工大) 社会情報基盤のための音声・映像の知的統合 間瀬 健二(名大)
TS2 特別 セッション(2)	<b>これからはプロセッサはいらない?</b> 4日(金)9:30-12:00 第4 イベント会場[B棟 2F 202 教室] 司 会 : 今井 正治(阪大) パネリスト: 天野 英晴(慶大), 佐藤 友美(アイピーフレックス), 富山 宏之(名大), 宮森 高(東芝), 村上 和彰(九大) 若林 一敏(NEC)
TS3 特別 セッション(3)	<b>情報漏洩対策</b> 3日(木)14:30-17:00 第2 イベント会場[B棟 1F 101 教室] 14:30-15:15 基調講演:「技術者/研究者(エンジニア)の法的責任 個人情報保護法完全施行を控えて」 奥村 徹(奥村&田中法律事務所) 15:30-17:00 パネル討論:「情報漏洩対策における技術と法律」 司 会 : 林 淑隆(キヤノンシステムソリューションズ) パネリスト: 大木 栄二郎(IBM ビジネスコンサルティングサービス), 奥村 徹(奥村&田中法律事務所), 小島 肇(龍谷大), 白川 理(キヤノンシステムソリューションズ)

TS4 特別 セッション(4)	<p><b>平成 18 年度 教科『情報』入学試験シンポジウム</b>                  2 日(水)13:15-17:30 第 1 イベント会場[講堂]                  13:15-13:20 シンポジウム開催宣言 城 和貴(奈良女子大)                  13:20-14:00 公開模擬試験「あなたは何点取れますか？」                  14:00-14:30 基調講演:「東京農工大学での教科『情報』試行試験の試み」 中森真理雄(農工大)                  14:40-15:00 採点結果発表および出題の意図, 解答例の説明                  15:00-17:00 パネル討論:「教科『情報』についてどのような入試を期待しますか？」                  司 会: 中條拓伯(農工大)                  パネリスト: 小原 格(都立町田高校), 城 和貴(奈良女子大), 中森 真理雄(農工大),                  古瀬 慶博(三菱スペースソフトウェア), 現役高校生(当日会場にて募集)</p>
TS5 特別 セッション(5)	<p><b>組込みシステム産業の将来とそれを支える技術者育成</b>                  2 日(水)13:15-17:30 第 4 イベント会場[B 棟 2F 202 教室]                  13:15-14:15 基調講演(1)「組込みシステム技術動向」 講演者調整中                  14:15-15:15 基調講演(2)「組込みシステム産業動向」 講演者調整中                  15:30-17:30 パネル討論「組込みシステム技術者の将来像と育成戦略」 司会、パネリスト調整中</p>
TS6 特別 セッション(6)	<p><b>温故知新</b>                  2 日(水)13:15-17:30 第 5 イベント会場[B 棟 2F 201 教室]                  本セッションは、大先生、中先生(?), 小先生(??)に、昔の全国大会発表を復刻して行ってもらい、今日でも面白い、あるいは反省があるなどといったコメントをつけて頂く、みんなが楽しめる「懐メロ」セッションです。発表者は現在交渉中。</p>
シンポジウム	<p><b>高度 IT 技術者の育成と産業界からの期待</b>                  4 日(金)9:30-12:00 第 2 イベント会場[B 棟 1F 101 教室]                  9:30- 9:35 あいさつ 米田 英一                  9:35-10:05 講演(1)「産業界が期待する IT 技術者」 繁野 高仁(KDDI)                  10:05-10:25 講演(2)「IT 技術者研修の動向」 角田 千晴(JUAS)                  10:25-10:45 講演(3)「IT 専門大学院」 大場善次郎(北大/東大)                  10:45-11:05 講演(4)「アクレディテーション活動報告」 掛下 哲郎(佐賀大)                  11:05-12:00 総合討論</p>
研究会企画	<p><b>研究会の新分野開拓シンポジウム</b>                  3 日(木)14:30-17:00 第 3 イベント会場[B 棟 1F 102 教室]                  14:30-14:40 講演(1)「最近の調査研究の動きと新分野開拓の状況について」 萩谷 昌己(調査研究運営委員長/東大)                  14:40-14:50 講演(2)「バイオ情報学研究会の紹介」 植村 俊亮(主査/奈良先端大)                  14:50-15:00 講演(3)「エンタテインメントコンピューティング研究会の紹介」 星野 准一(主査/筑波大)                  15:00-15:10 講演(4)「ネットワーク生態学研究グループの紹介」 上林 憲行(主査/東京工科大)                  15:10-15:20 講演(5)「CS 領域における新分野開拓の可能性」 富田 悦次(CS 領域委員長/電通大)                  15:20-15:30 講演(6)「IE 領域における新分野開拓の可能性」 竹林 洋一(IE 領域委員長/静岡大)                  15:30-15:40 講演(7)「FR 領域における新分野開拓の可能性」 平田 圭二(FR 領域委員長/NTT)                  15:50-16:50 パネル討論「情報処理への新たな挑戦」                  司会: 萩谷昌己(調査研究運営委員長/東大)                  パネリスト: 上記講演者+次期調査研究運営委員長                  16:50-17:00 次期調査研究運営委員長の挨拶</p>
標準化 セッション(1)	<p><b>ISO/IEC JTC 1/SC 25 情報機器間の相互接続に関する国際標準化の動向</b>                  4 日(金)9:30-12:00 第 3 イベント会場[B 棟 1F 102 教室]                  9:30- 9:50 講演(1)「ホームネットワーク国際標準化の諸問題」 山本 和幸(松下電工)                  9:50-10:10 講演(2)「エコネットの標準化戦略」 新谷 保之(松下電器)                  10:10-10:30 講演(3)「構内配線の国際標準化動向」 宮島 義昭(NTT 東日本)                  10:30-10:50 講演(4)「コンピュータ周辺機器インタフェースの国際標準化動向」 脇村 慶明(アトー)                  10:50-11:10 講演(5)「レスポンスリンクとは」 松井 俊浩(産総研)</p>
標準化 セッション(2)	<p><b>ISO/IEC JTC1 SC32 における「データの管理と交換」標準化活動の紹介</b>                  4 日(金)14:30-17:00 第 3 イベント会場[B 棟 1F 102 教室]                  14:30-14:55 講演(1)「SC32 における標準開発と日本の貢献」 芝野 耕司(東京外語大)                  14:55-15:20 講演(2)「電子商取引(Open-edi)のための参照モデルとその後の標準化動向」 森田 勝弘(法務省)                  15:20-15:45 講演(3)「メタデータ規格と海外事例紹介」 林 正晴(管理工学研)                  15:45-16:10 講演(4)「SQL 標準化の最近動向」 土田 正士(日立)                  16:10-16:35 講演(5)「SQL マルチメディアパッケージ標準化の最新動向」 鈴木 健司(東京国際大)                  16:35-17:00 講演(6)「メタモデル相互運用枠組みの標準化動向」 堀内 一(東京国際大)</p>

■聴講参加費・講演論文集代(税込)

申込種別	予約価格(2/10迄)	定 価
大会聴講参加費(正会員)	3,000 円	3,000 円
大会聴講参加費(正会員) *CD-ROM 付き	8,000 円	8,000 円
大会聴講参加費(一般非会員)	6,000 円	6,000 円
懇親会参加費一般(正会員・一般非会員)	4,000 円	5,000 円
懇親会参加費学生(学生会員・学生非会員)	2,000 円	3,000 円
講演論文集分冊	7,000 円	9,000 円
講演論文集セット *CD-ROM 付き	35,000 円	43,000 円
講演論文集CD-ROM	7,000 円	7,000 円
送料	セットおよびセット冊数以下	800 円
	セット冊数以上	1,000 円
	CD-ROM 1 枚につき	500 円

■問合せ先

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5  
 社団法人情報処理学会 事業部門  
 電話 (03) 3518-8373, FAX (03) 3518-837 5  
 e-mail: jigyo@ipsj.or.jp

■留意事項

※学生の大会聴講参加費は無料です。  
 ※講演論文集、CD-ROM 共に事前発送は致しておりません。  
 受取りは当日会場受取りか大会終了後の郵送となります。  
 ※講演論文集またはCD-ROM を郵便で受け取る場合には別途送料がかかります。  
 ※懇親会は、大会初日の3月2日(水)18:00 から電気通信大学内 大学会館 3F 職員食堂にて開催の予定です。

■聴講参加および講演論文集のお申込、詳細は、以下のサイトからお願いいたします。

**第 67 回全国大会公式サイト** <http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/67kai/>



# 第67回全国大会会場案内図

■電車 [調布駅下車《北口》→ 徒歩約5分]

◎調布駅までのアクセス

- ・新宿駅 (京王線) → 調布駅
- ・渋谷駅 (京王井の頭線) → 明大前 (京王線) → 調布駅
- ・東京駅 (JR中央線) → 新宿駅 (京王線) → 調布駅
- ・羽田空港 (京浜急行線) → 品川駅 (JR山手線) → 新宿駅 (京王線) → 調布駅
- ・新横浜駅 (横浜線) → 橋本駅 (京王相模原線) → 調布駅
- ・横浜駅 (横浜線) → 橋本駅 (京王相模原線) → 調布駅
- ・上野駅 (JR山手線) → 新宿駅 (京王線) → 調布駅
- ・品川駅 (JR山手線) → 新宿駅 (京王線) → 調布駅

■バスをご利用でのアクセス

◎吉祥寺駅からのバス

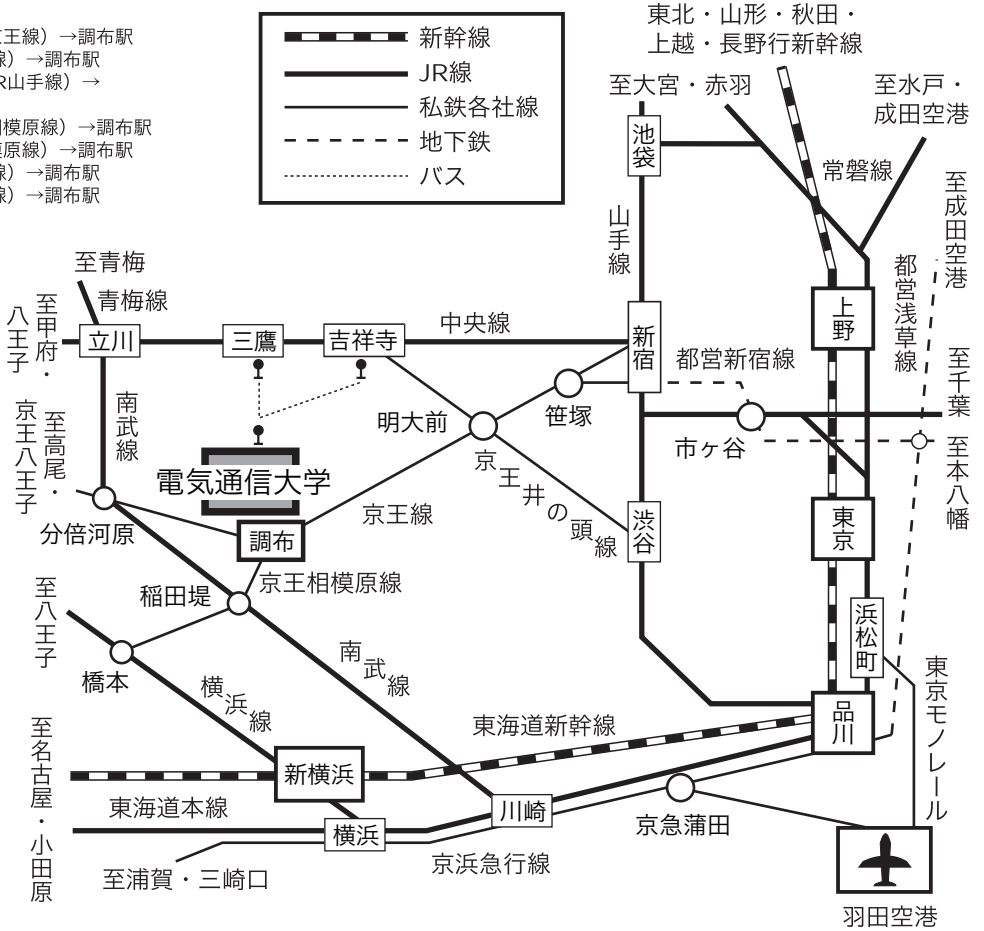
- ・吉14系統「調布駅北口」行 (約30分) (8番のりば) → 「布田一丁目」
- ・吉05系統「調布駅北口」行 (約35分) (6番のりば) → 「電気通信大学前」
- ・吉06系統「調布駅北口」行 (約35分) (4番のりば) → 「電通大学生寮前」

◎三鷹駅からのバス

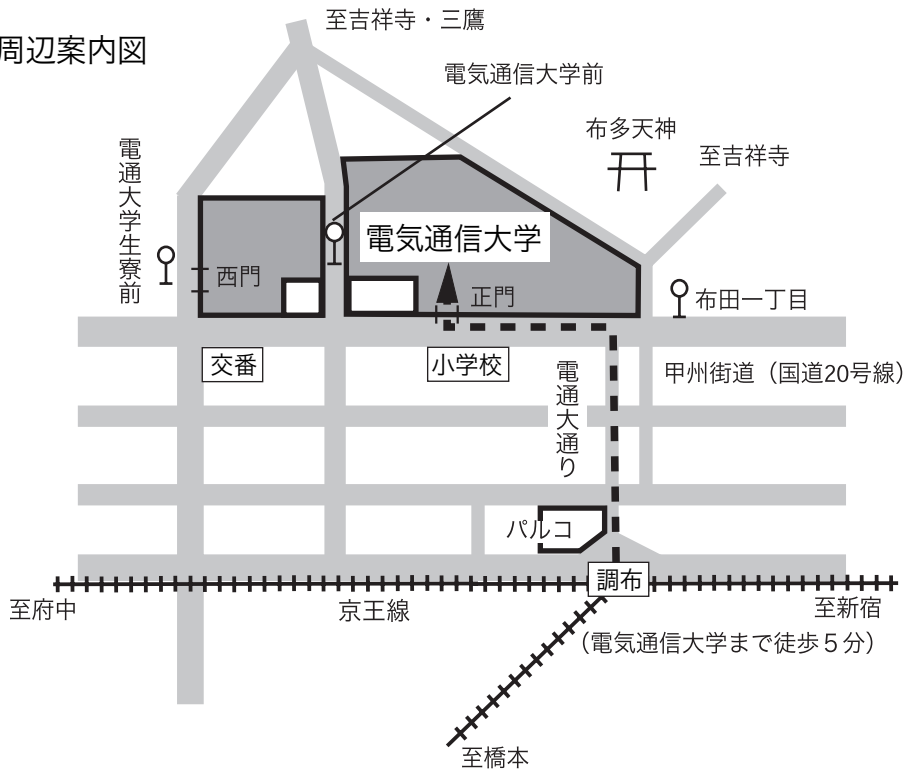
- ・鷹51系統「調布駅北口」行 (約30分) (3番のりば) → 「電気通信大学前」
- ・鷹56系統「調布駅北口」行 (約25分) (6番のりば) → 「電通大学生寮前」

◎羽田空港直行リムジンバス (京王バス)

- ・羽田空港 - 調布駅北口 (所要時間60~90分)



## 電気通信大学周辺案内図



## ◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集、参加案内等）の本誌掲載については、下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

### 記

#### ■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金（消費税込）	
論文募集／ 参加者募集	国際会議、シンポジウム、ワークショップ、講演会、講習会などの論文募集・参加者募集	1 ページ、1/2 ページまたは 1/4 ページ	(主催・共催)	
			1 ページ	52,500 円
			1/2 ページ	31,500 円
			1/4 ページ	21,000 円
			(協賛)	
広告として取り扱う				
人材募集	国公立教育機関、国公立研究機関、 企業の人材募集	10 行程度	国公立教育機関、国公立研究機関	21,000 円
			賛助会員（企業）	31,500 円
			賛助会員以外の企業	52,500 円

#### ■申込方法

任意の用紙に、件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先などを記載し、掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

#### ■原稿の書き方

- 行事次第書： A4 判カメラレディまたは PDF ファイル（フォント埋め込み）とします。  
 (1 ページ) 天地 260mm × 左右 175mm  
 (1/2 ページ) 天地 130mm × 左右 175mm  
 (1/4 ページ) 天地 65mm × 左右 175mm  
 \* A4 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。

- 人材募集： 次の項目を明記し、E-mail または Fax、郵送にてお送りください。  
 [募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]  
 \*なお、都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

#### ■申込期限

毎月 15 日を締切日とし、翌月号（15 日発行）に掲載します。

#### ■掲載料金

掲載号発行日に料金を請求いたしますので、3 カ月以内にお支払いください。

#### ■掲載申込先

(社) 情報処理学会 会誌編集部門 (有料会告係)  
 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F  
 E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375

奈良の薬師寺に行きました。二度目の訪問でした。一度目は修学旅行で、その時は青（緑）と赤の色彩が鮮やか過ぎて古都のイメージと違うとがっかりしたことを覚えています。「中門」から境内を見ますと、右に1300年前の創建当時の姿で国宝の「東塔」が立っています。左には昭和に再建された「西塔」、2つの塔の間に昭和再建の「金堂」が立っています。最初の訪問からずいぶん年月がたち、建物もそれを見ている私も歳をとったためか、西塔と金堂の色彩は周りの風景に溶け込んで感じられ、とても美しく見えました。西塔をしばらく眺めていますと、「あをによし（青丹よし）」と詠まれた「平城（なら）」は、青色と赤色があちらこちらに見られる美しい都だったのだらうと思われてきました。

金堂で国宝の薬師三尊像を見学していると、黒い僧衣のお坊様が現れ、お話をしてくださいました。

「薬師寺はお葬式を行いません。何をするとところかといひますと今の大学のようなところで、心の勉強をします。

『手を打てば “はい” と声する 鳥逃げる 鯉は集まる  
猿沢の池』

手をたたくと、猿沢の池の周囲で働く女中さんは呼ばれたと思ひ『はい』と返事をします。木の上の鳥はびっくりして逃げ出します。鯉は餌をもらえらると思ひて集まてきます。たたいた音は一緒でも、心が違ふと幾通りにも聞こえます。心の持ちよで、受け取り方は違てきます。」

「嫌なことがあると人は俯（うつむ）きます。俯くと面が倒れるから、面倒。それなら、顔を上げれば顔に日が当たり、光った面が白く見えて、面白い。俯かずに顔を上げるたつたこれだけでも心は違ひます。」

このようなお話でした。

私は、この1年間に何度俯いたかしらと考えますと、何度も俯いたよに思ひます。俯いた私は、「たたいた音」をきちんと受け取ることができたのでしょうか、できなかつたのではと思ひました。もうすぐ新しい年がやてきます。新しい年を面白く過すために、お坊様の話を素直に受け止めて、俯きたくなつても顔を上げようと思ひました。

（春花朋美／規格部門）

■ 各種問合せ先 ■

（社）情報処理学会（本部） ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。  
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担当	E-mail	Tel (ダイヤルイン)	取り扱い内容
<b>■ 会員サービス部門</b>			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会、会費、変更連絡、退会、在会証明、会員証、会費等口座振替、海外からの送金
<b>■ 会誌編集部門</b>			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容、広告掲載、転載許可、出版、著作権
<b>■ 研究部門</b>			
論文誌	edit@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌（ジャーナル）の編集・査読
調査研究／教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録、研究発表会、シンポジウム、研究グループ、論文誌（トランザクション）
<b>■ 事業部門</b>			
事 業	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会、FIT、連続セミナー、プログラミング・シンポジウム
国 際	intl@ipsj.or.jp		国際会議、IFIP 委員会
<b>■ 管理部門</b>			
総 務	somu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会、支部、役員選挙、名誉会員
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納、送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画、電子化委員会、電子図書館、IPSI メールニュース
図 書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
<b>■ 情報規格調査会</b>			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp		標準化フォーラム 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 <a href="http://www.itscj.ipsj.or.jp/">http://www.itscj.ipsj.or.jp/</a>

## ◻◻ ACM・IEEE・IEEE-CSの会費割引特典について ◻◻

各学協会との協定により、本会会員の会費が割引になります（本会 Web ページ：<http://www.ipsj.or.jp/06mem/kaiin/service-ta.html> 参照）。会員の皆様におかれましては大いに特典を活用していただき、学術・技術の向上にお役立てください。なお、入会申込み等詳細につきましては各事務局に直接お問い合わせください。

1. ACM (Association for Computing Machinery) <http://www.acm.org/>  
正会員 (Voting Member) 会費を 20% 割引
2. IEEE (The Institute of Electrical and Electronic Engineers, Inc.) <http://www.ieee.org/>  
IEEE-CS (IEEE Computer Society) <http://computer.org/>  
Full Member (IEEE および IEEE + IEEE-CS の会員) の会費を 10% 割引

### 【照会／入会申込先】

#### ◆ ACM 日本事務局

〒107-0062 東京都港区南青山 5-10-5 九曜ビル 903  
Tel (03)5466-1761 Fax (03)5466-1762

#### ◆ IEEE 東京支部

〒105-0003 東京都港区西新橋 3-6-2 ツカサビル 6F  
Tel (03)5776-7670 Fax (03)5776-7671

#### ◆ IEEE-CS アジア・パシフィック・オフィス

〒107-0062 東京都港区南青山 1-4-2 南青山渡辺ビル 6F  
Tel (03)3408-3118 Fax (03)3408-3553



## ◎ 会員サービスのご案内 ◎

会員の皆様の特典としてご利用いただける各種サービスをご案内いたします（本会 Web ページ：<http://www.ipsj.or.jp/06mem/kaiin/service-ta.html> 参照）。会員特典等にご意見ご要望等がございましたら事務局会員サービス部門 (E-mail: [mem@ipsj.or.jp](mailto:mem@ipsj.or.jp)) までお寄せください。

#### ◆ ホテル (5～30%割引)

サンルートホテル、チサンホテル、ホテル法華クラブ、ワシントンホテル、JR ホテルグループ、東急ホテルズ、プリンスホテル、第一ホテルチェーン、JR 東日本ホテルチェーン、ガーデンホテルズ、三井観光グループ／ホテル、全日空ホテルズ、都ホテルズ & リゾーツ、ホテル京急グループ、ダイワロイヤルホテルズ、エイチアールエヌ、ウィクリーマンション東京

#### ◆ 研修・宿泊施設 社会経済生産性本部 IPC 生産性国際交流センター

#### ◆ UC 丸善アカデミックカード (10%割引)

#### ◆ コンピュータソフト パーシティウエーブ (教育機関所属の方はアカデミック価格で)

#### ◆ レンタカー (35～48%割引)

ニッポンレンタカー、日産レンタカー、マツダレンタカー

#### ◆ パック旅行 (3～5%割引)

ジェイティービー、日本旅行、近畿日本ツーリスト、東急観光、京王観光、ジャルパックサービス、エンターティメントエクスプレス



## ご意見をお寄せください！

【1月10日頃までにお出しく下さい】

宛先 (社) 情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれからも送付できます)  
http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4512.html Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp  
(E-mailで送信される場合は、10-1-aのようにコードでお答えください)

[コード]

1. ご氏名
2. ご所属 Tel. ( ) -
3. E-mail:
4. 業種：(a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (大学・高専など)  
(e) 学生 (f) その他 ..... 4-
5. 職種：(a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務  
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教官/教員 (大学・大学院) (h) 教職員 (小・中・高校・高専など)  
(i) 学生 (j) その他 ..... 5-
6. 年齢：(a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 ..... 6-
7. 性別：(a) 男性 (b) 女性 ..... 7-
8. あなたはモニタですか？：(a) はい (b) いいえ ..... 8-
9. あなたのご意見は「会員の広場」(会誌および Web) に掲載される場合があります。その場合：  
(a) 実名可 (氏名のみ掲載) (b) 匿名希望 ..... 9-
10. 今月号 (2004年12月号) の記事についてのあなたの評価をご記入ください。  
[a…大変参考になった b…よい c…普通、どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない]

特集：天文学をサポートする情報新技術

世界中の天文データベース連携を実現するバーチャル天文台	10-1-
天の川創成プロジェクト	10-2-
4次元デジタル宇宙プロジェクト	10-3-
赤外線位置天文観測衛星 (JASMINE) 計画に使われるオブジェクト指向技術	10-4-
補償光学	10-5-
すばる望遠鏡の制御技術	10-6-
富士山頂サブミリ波望遠鏡の遠隔操作	10-7-
大規模災害に対する減災情報システム (後編)	10-8-
Web プログラミング・フレームワーク	10-9-
Web サービス：Web サービスの標準化と相互接続性	10-10-
情報技術と教育：独創と改善	10-11-
プログラム・ブロンナード：国内予選を突破せよ	10-12-
インターネット生活向上委員会：携帯電話で生活向上	10-13-
20世紀の名著名論：John McCarthy et al.: LISP 1.5 Programmer's Manual	10-14-
20世紀の名著名論：Michael J. Flynn: Very High-Speed Computing Systems	10-15-
アジア IT 事情：中国の IT 事情	10-16-
アメリカ IT まわりの話題：大統領選が終わって	10-17-
日本の IT 事情：デジタル技術を愛する人は同時に、それに苦しまなければならぬ	10-18-

11. 特に興味を持ってお読みになった記事とその感想をお書きください。

12. 著者への質問、今後取り上げて欲しいテーマ、また「道しるべ」に取り上げてほしいテーマなどありましたらお書きください。

出張時にPCを持って行く習慣はいつ頃から始まったのだろう。10年くらい前までは出張先で計算機端末を借りて電子メールを読んでいたと思う。外国だと日本語メールを読めることはまずなく、帰国後に、「電子メールの日本語が読めなくて」という言い訳をして、外国出張中は日本の仕事から一時解放されるものであった。PCを持ち歩くようになった今では、出張先で、会議中でも日本からのメールを見なければという強迫観念に囚われることがある。

天文特集の話があったのが今年3月。和田編集長の始めの依頼は特集のテーマと執筆者候補の相談に乗ることだった。5月中旬にはテーマが決まり、執筆者にも内諾をもらった。これらはすべて電子メールで済ませた。これでお役ご免と軽く考えていたら、いつの間にかゲストエディタを引き受けることになってしまっていた。これは電子メールの効果のような

気がしてならない。

便利なはずの電子メールが次から次へと仕事を運んで来ては、尻をたたき、人は日夜働かされることになってしまった。一見仕事の能率が上がったようだが、内容が「やっつけ仕事」になって質が低下する恐れがある。今回の編集作業は出張中の強迫観念と共同作業であった。安請け合いで編集委員を引き受けてしまい、また、筆者の多忙さから編集部の皆様にはヒヤヒヤの連続、ご迷惑をおかけしている次第である。この原稿も時間切れぎりぎりまで書いている。それでも間に合うのは、やはり電子メールのおかげだろう。恐るべし電子メール。

天文学も「電子メールの時間スケール」で発展中である。この特集で最先端の天文学のスピード感を感じ取っていただけたらどうか。

(水本好彦/本特集ゲストエディタ)

次号(1月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」 本家! データマイニング手法

データストリームのためのマイニング技術/データスカッシング-逆転の発想によるスケールダウン戦略- / 自然言語処理におけるマイニング技術の応用/統計的異常検出3手法/グラフベースデータマイニングの現状/構造データ分類学習手法の近年の発展/大規模ウェブアーカイブを用いた情報マイニング

解説

セキュアシステム設計技術-ディペンダビリティの視点から..... 塚本克治

連載 Web サービス/プログラム・プロムナード

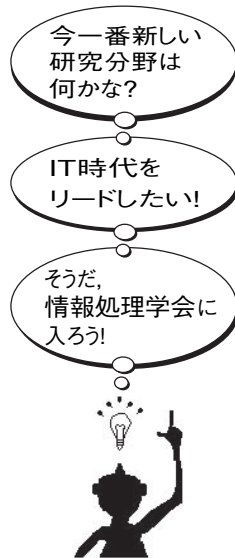
コラム アジアIT事情/アメリカITまわりの話題/インターネット生活向上委員会/情報技術と教育/20世紀の名著名論/日本のIT事情

# 会員募集中!!

ITの最新情報、研究発表の場の提供を通じて、  
あなたのお役に立ちます。

詳しくはWebサイト <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

申込/照会先 社団法人 情報処理学会  
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F  
Tel(03)3518-8370(会員サービス部門) E-mail:mem@ipsj.or.jp



複写される方に

℞ < 学術著作権協会 依託 >

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の従業員以外は、図書館も著作権者から複写権の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接当学会へご連絡ください。

〒170-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル

学術著作権協会

E-mail: naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp

Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619

ただし、アメリカ合衆国における複写については、右記の In the USA に記載の所へご照会ください。

Notice about Photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization, which has been delegated for clearance by the copyright owner of this publication.

Except in the USA

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo

107-0052, Japan

E-mail: naka-atsu@mju.biglobe.ne.jp

Tel: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

In the USA

Copyright Clearance Center, Inc. (CCC)

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA

Phone: (978)750-8400 Fax: (978)750-4744

<http://www.copyright.com>

## 掲載広告カタログ・資料請求用紙

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、必要事項をご記入の上、E-mail:sei@ss-com.co.jp または Fax.03-3368-1519 へご請求ください。

「情報処理」 月号をみて

広告主名	製品名	希望項目 <sup>※</sup>	その他要望事項

※希望項目：A 購入希望, B 担当者から連絡・訪問希望, C カタログ希望

フリガナ  
お名前

\_\_\_\_\_

勤務先

所属部署

\_\_\_\_\_

所在地

(〒       -       )

TEL (       )

-

FAX (       )

-

\_\_\_\_\_

ご専門の分野

\_\_\_\_\_

広告のお問合せ・お申込みは・・・広告総代理店（株）精機通信社へ

発行 社団法人 情報処理学会  
 発行部数 30,000 部  
 体裁 A4 判  
 発行日 毎当月 15 日  
 申込締切 前月 10 日  
 原稿締切 前月 20 日  
 広告原稿 オフセット用ポジフィルム  
 原稿寸法 1 頁 天地 260mm × 左右 180mm  
           1/2 頁 天地 125mm × 左右 180mm  
 雑誌寸法 天地 297mm × 左右 210mm

お問合せ・お申込みは

広告総代理店

（株）精機通信社 Tel.03-3367-0571

〒 169-0073 東京都新宿区百人町 2-16-13

Fax.03-3368-1519 E-mail: sei@ss-com.co.jp

### ■広告料金表

掲載場所	4 色	2 色	1 色
表 2	346,500 円 (税抜 330,000 円)	—	—
表 3	288,750 円 (税抜 275,000 円)	—	—
表 4	404,250 円 (税抜 385,000 円)	—	—
表 2 対向	315,000 円 (税抜 300,000 円)	—	—
表 3 対向	278,250 円 (税抜 265,000 円)	199,500 円 (税抜 190,000 円)	162,750 円 (税抜 155,000 円)
前付 1 頁	262,500 円 (税抜 250,000 円)	173,250 円 (税抜 165,000 円)	141,750 円 (税抜 135,000 円)
前付 1/2 頁	—	—	84,000 円 (税抜 80,000 円)
前付最終	—	—	155,400 円 (税抜 148,000 円)
目次前	—	—	155,400 円 (税抜 148,000 円)
差込 (A4 判 70.5kg 未満 1 枚)	288,750 円 (税抜 275,000 円)		
差込 (A4 判 70.5kg ~ 86.5kg 1 枚)	367,500 円 (税抜 350,000 円)		

\* 上記料金はポジフィルム納入による料金です。

\* 版下・製版等が必要な場合には別途実費申し受けます。

\* 断切広告は上記料金の 10% 増です。ただし、表 4 は不可。